

CI-NET導入の取り組み

- ✓ 第1部 導入までの経緯
- ✓ 第2部 社内システム連携カスタマイズ
- ✓ 第3部 導入実績、効果、課題

2018年11月

— 今日を築き明日を拓く —
株式会社 水倉組

建設本部購買部 樋浦一之

会社概要

会社名	株式会社 水倉組
設立	昭和29年
資本金	2億円
本社所在地	新潟市西蒲区巻甲5480番地
代表者	代表取締役 水倉 直人
売上高	80億円
従業員数	210名
業種別割合	土木舗装60% 建築40%
官民割合	官70% 民30%
支店営業所	新潟県内9拠点
取引先登録社数	700社（外注、資機材）
年間注文件数	1300件（変更注文を除く）

導入事例の特徴

下請基本契約もCI-NETで電子化（印紙税不要）

CI-NET明細部は使用せず、
契約明細はエクセルファイル添付

社内の購買申請システムがCI-NET導入に良くも悪くも影響した

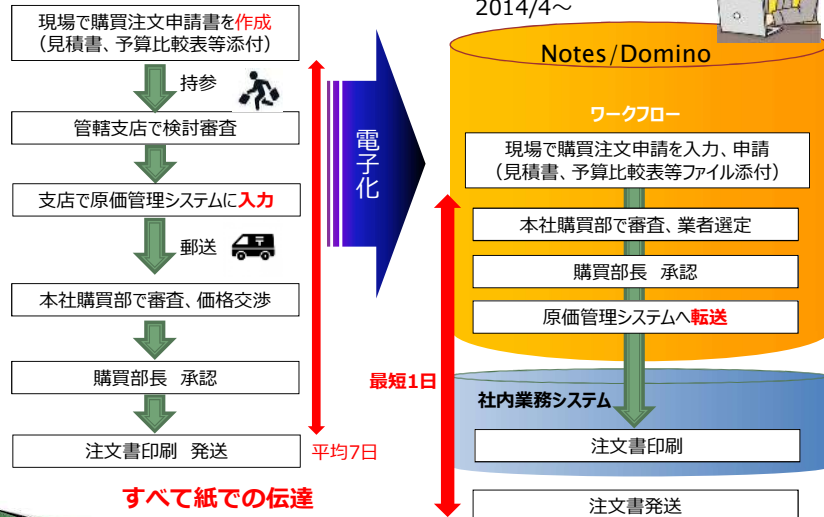
3

導入内定までの経緯

時期	内容
2012/ 7	地元紙に「新潟県内ゼネコン3社が同時にCI-NETスタート」と報じられ、建設本部長より将来に向けての検討を指示された
2013/ 2	新潟市で開催された電子商取引地域セミナーに出席
2013/ ?	新潟市西蒲区巻地区で開催された電子商取引地域セミナーに出席 セミナー終了後、国土交通省と建設業振興基金が来社、弊社社長に前向きな導入検討を依頼
↑ 進展なし ↓	東京で開催された電子商取引導入セミナーに数回出席し、その都度上司に業界の動きを報告
2015/12	主要取引先にCI-NET導入実態調査（アンケート）を実施
2016/ 3	導入に向けて、課題、運用コスト、社内システム変更、運用体制、普及活動、ASP業者の選定について検討を開始
2016/10	実施方針・計画立案（役員へ上申）により、CI-NET導入を内定

4

購買申請業務の変遷



5

— 今日を築き明日を拓く —
株式会社 水倉組

実施計画（上申内容）

適用タイプ	ASP活用タイプ I 社内業務システムとASPが提供するEDI機能が連携するタイプ
ASPサービス	CIWEB (株)コンストラクション・イーシー・ドットコム (CEC.COM)
適用業務	注文～注文請け に限定 スモールスタート!
注文送信までの社内業務	従来通り、Notesで申請～承認 ワークフロー
対象とする取引先	すでに運用中である、もしくは説明会でCI-NET参加を表明した協力会社
注文書、請書の管理	PDFを印刷し、従来のファイルに写しとして保管。 現場作業所へは、PDFをメール送信 ⇒施工体制台帳へ綴じる。 追加変更は、当初の注文No.に枝番を付して一連として管理。
目的（期待効果）	直接的効果→ (1)購買事務コスト低減（郵送受領等の通信費、人件費） (2)着工前契約の履行体制の確立（建設業法遵守） 間接的効果→ (1)電子化による企業の信用度向上 (2)大震災などの災害時の契約データ保管、復旧（データ危機管理）

6

— 今日を築き明日を拓く —
株式会社 水倉組

導入内定から稼働までのスケジュール



7

— 今日を築き明日を拓く —
株式会社 水倉組

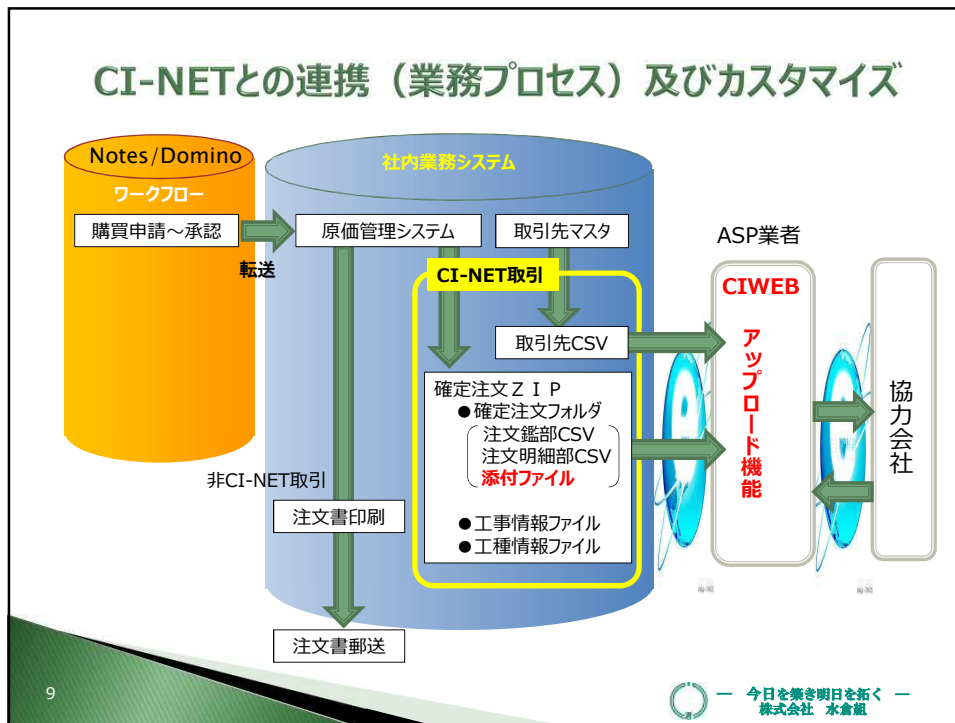
半年で運用開始できた理由

- ✓ 導入内定までの約半年間に、導入に向けての課題、運用コスト、社内システム変更、運用体制、普及活動、ASP業者の選定について水面下で検討を進めていた
- ✓ すでに、現場からダイレクトに購買部へ申請できる仕組み（システム）が確立していた
- ✓ 注文発行～請書受領に限定して運用を開始するため、現場は従来通りの運用であり、混乱を招かない（スモールスタート）

8

— 今日を築き明日を拓く —
株式会社 水倉組

CI-NETとの連携（業務プロセス）及びカスタマイズ



CI-NETとの連携 カスタマイズ費用

カスタマイズ内容	対象
CI-NETか否かの識別フラグ（項目追加）	購買注文データ
CI-NETに必要なデータ項目を社内システムのマスタに追加、並びに項目桁数の変更（チェックリスト出力帳票の変更を含む） 全角制御エラー検出機能	取引先マスタ 工事登録マスタ 社員マスタ
CIWEBにアップロードできるよう指定された形式のCSVを自動出力する機能	取引先マスタ
CIWEBにアップロードできるよう自動ZIPファイル作成機能	工事情報マスタCSV 工種情報マスタCSV 確定注文データ 添付ファイル
CIWEBで固定項目として使用する文言マスタの新設	文書マスタ
カスタマイズ費用	1,700,000円

運用実績と導入効果（CI-NET部分）

	CI-NET導入による効果
実績（運用から1年）	全体注文件数（変更含む）2600件と仮定して CI-NET 300件 11%
着工前契約の確立	契約業務の迅速化 （注文から請書受領までの日数激減） ⇒ 支払停滞の回避
購買事務コスト低減	注文書印刷～押印～郵送業務の削減、 郵送料の削減
電子化による企業の信用度向上	書類紛失の防止、不達の回避 大震災などの災害時の契約データ保管、復旧 （データ危機管理）

資源の削減

- ▲ pdfを印刷してファイルに保管（紙ベース契約とおなじように）
- ▲ pdfをメール配信して、施工体制台帳に綴じ込む

11

最後に

（導入で苦労した点）

- 導入の動機づけ（会社への説得）
- 協力会社への説得
 - ・印紙税削減以外で数値的に表現できるメリットは？
- 社内システムとのデータ連携
 - ・各種コードの桁数
 - ・全角文字制御への対応、文字数（バイト数）への対応
 - ・**契約明細の取り扱い**

（今後の課題）

- 契約明細の増減管理ができる様式（**CI-NETに期待**）
- 出来高請求までの適用範囲拡大 **CI-NET率50%を目指す**
 - ・現場作業所分のライセンス費用
 - ・出来高明細様式をどうするか（契約明細と連動の必要あり）
 - ・社内会計システムに取り込む仕組みの構築（カスタマイズ費用）

12

ご清聴ありがとうございました

配布

